

2016年7月19日

『使用済み紙おむつリサイクルシステム』

鳥取県企業がマレーシアでのビジネス化に挑みます

～株式会社スーパー・フェイス、JICA 調査事業に採択～

国際協力機構（JICA）は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社スーパー・フェイス（鳥取県西伯郡伯耆町、木村幸弘代表取締役）が提案する「使用済み紙おむつリサイクルシステム案件化調査」（マレーシア）を採択しました。

マレーシアは、2020年の先進国入りを目指して取り組みを進めていますが、開発と環境保護の調和が、重要な課題のひとつです。国有企業である「固形廃棄物・公共衛生管理公社」は近年のごみ排出量の増加、さらには廃棄物の多様化への対策を進めています。使用済み紙おむつは固形廃棄物の組成において食品、プラスチックに次ぐ3位（全体の12%に相当）で、リサイクル利用についてもさまざまな研究が行われています。

株式会社スーパー・フェイスは使用済み紙おむつのペレット燃料化技術で国内特許を取得し、すでに鳥取県伯耆町ほか国内の自治体等の施設で熱源として使用されています。



SFD 燃料化システム

マレーシアの廃棄物処分場での仕分けの一コマ

この調査では、首都クアラルンプール近郊で今後8か月間をかけて ODA 案件化を目的とした現地政府機関との協議、実態調査、さらに民間機関とのビジネスモデルについての協議も行われる予定です。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2016年度第1回公示の採択結果について

URL：<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ・申込み先】	地域から世界へ、世界から地域へ 元氣をつなぐ JICA 中国
JICA 中国 総務課 担当：西山 TEL：080-5754-8534 FAX：082-222-1525 E-mail：nishiyama.kineo@jica.go.jp	JICA 中国ウェブサイト 